SHOWA fine various reagents

# 化学物質等安全データシート

## 1.化学物質及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上
改訂　平成20年7月25日

化学物質等のコード　：　0310-0336

化学物質等の名称　　：　タングステン酸カルシウム

## 2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：　本品に関するデータがないため、ＧＨＳ分類できない。
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ラベル要素：　該当なし
（絵表示又はシンボル）

注意喚起語：　該当なし

危険有害性情報：
・最重要危害性：該当なし（旧日本式分類：該当なし）
・有害性：　経口；飲み込むと、嘔吐、吐き気、下痢の症状が現れることがある。
吸入（粉塵）；鼻、のど、気管等の呼吸器粘膜に刺激が現れることがある。
皮膚、眼；物理的な刺激が現れることがある。
暴露；頭痛、吐き気などの症状が現れることがある。
・環境影響：　データがないため、水生環境への影響は不明である。
・物理的及び化学的危険性：
通常の取扱いで安定であり、危険性は低い。

注意書き
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【救急処置】
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は毛に付着した場合、流水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉して換気のよい涼しい場所で保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3.組成、成分情報

| | | |
|---|---|---|
| 単一製品・混合物の区別 | ： | 単一製品 |
| 化学名 | ： | タングステン酸カルシウム<br>（別名）タングステン(VI)酸カルシウム、シェーライト、灰重石<br>（英名）Calcium tungstate、Scheelite、<br>Tungstic acid calcium salt |
| 成分及び含有量 | ： | タングステン酸カルシウム、99.0%以上 |
| 分子式及び示性式 | ： | CaWO4 |
| 分子量 | ： | 287.92 |
| 官報公示整理番号（化審法） | ： | (1)-197　　安衛法：1-(3)-145 |
| CAS No. | ： | 7790-75-2 |

危険有害成分　　：　特になし

## 4．応急措置

吸入した場合　：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合　：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。
皮膚を速やかに、流水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激がある時は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合　：水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼刺激が持続する時は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

## 5．火災時の措置

消火剤　：この製品自体は燃焼しない。
周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水
大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
特有の危険有害性　：火災によって刺激性、有害性のヒューム、ガスを発生するおそれがある。
消火活動中に煙を吸引しないようにする。
特有の消火方法　：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
風上より消火し、環境へ流出しないよう漏洩防止処置を施す。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護　：消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。

## 6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項　：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。
回収、中和　：こぼれた物質を密閉式容器に掃き入れ、安全な場所に移す。
後で、廃棄処理する。
粉じんが舞う時は、水で湿らして回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：
危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策　：床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

## 7．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気　：「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項　：使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度を低下させるために排気用の換気を行うこと。
皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こすことがある。
目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避　：「１０．安定性及び反応性」を参照。
保管
技術的対策　：採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質　：「１０．安定性及び反応性」を参照。
保管条件　：涼しく換気の良い場所で保管すること。
直射日光を避け、遮光保管すること。
容器を密閉して保管すること。
容器包装材料　：ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

## ８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　　：設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：
　日本産衛学会（2007年版）　　設定されていない。
　ＡＣＧＩＨ（2007年版）　TLV-TWA　5mg/m3（タングステンとして）
　　TLV-STEL 10mg/m3（タングステンとして）
設備対策　　：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
　高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：呼吸器保護具（防塵マスク）を着用すること。
手の保護具　　：保護手袋を着用すること。
眼の保護具　　：眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具
　　：顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策　　：取扱い後はよく手を洗うこと。

## ９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：白色の粉末
臭い　　：無臭
pH　　：データなし
融点・凝固点　　：1620℃
沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし
引火点　　：不燃性
爆発範囲　　：データなし
比重（密度）　　：6.06 g/mL（20℃）
溶解度　　：水にほとんど溶けない（0.64mg/100mL、15℃）。
　エタノール、エーテル、酢酸エチル、ヘキサンにほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数　：データなし
自然発火温度　　：不燃性

## １０．安定性及び反応性

安定性　　：通常の取扱で安定である。
危険有害反応可能性　：強酸化剤と反応することがある。
避けるべき条件　　：日光、熱
混触危険物質　　：強酸化剤
危険有害な分解生成物：データなし

## １１.有害性情報

急性毒性　　：経口 データなし
　飲み込むと、嘔吐、腹痛、下痢の症状が現れることがある。
　経皮 データなし
　吸入（蒸気） データなし
　吸入（粉じん）データなし
　吸入すると、鼻、のど、気道が刺激されることがある。
皮膚腐食性・刺激性：データはないが、皮膚に付着すると、物理的な刺激がでることがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：眼に入ると、刺激感が現れることがある。
呼吸器感作性　　：データなし
皮膚感作性　　：データなし
生殖細胞変異原性　：データなし
発がん性　　：IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載なし。
生殖毒性　　：データなし
特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露）　：データなし
特定標的臓器・全身毒性
（反復ばく露）　：データはないが、反復ばく露で有害性（不快感、頭痛）が現れることがある。
吸引性呼吸器有害性：データなし

## １２.環境影響情報

水生環境急性有害性　　：　データなし。水に不溶のため水生環境への拡散は低いと推測される。
水生環境慢性有害性　　：　データなし

## １３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
　都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
　（参考）埋立て法
　セメントで固化し埋立て処分する。

汚染容器及び包装　：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## １４．輸送上の注意

国内規制　：適用法令なし（非危険物）
国連分類　：非該当（非危険物）
国連番号　：非該当
海洋汚染物質　：非該当
特別の安全対策：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

## １５．適用法令

労働安全衛生法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当
消防法　：非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)：非該当
船舶安全法　：非該当
航空法　：非該当

## １６.その他の情報

参考文献


| | |
|---|---|
| 化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社 |
| 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社(2007) |
| 化学物質の危険･有害便覧 | 中央労働災害防止協会編 |
| 化学大辞典 | 共同出版 |
| 安衛法化学物質 | 化学工業日報社 |
| 産業中毒便覧(増補版) | 医歯薬出版 |
| 化学物質安全性データブック | オーム社 |
| 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) | 三共出版 |
| 化学物質の危険・有害性便覧 | 労働省安全衛生部監修 |
| Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM | |
| GHS分類結果データベース | nite (独立行政法人　製品評価技術基盤機構) HP |
| GHSモデルMSDS情報 | 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP |


このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。